

チャレンジ ～挑戦～



信陵中学校 学校だより

令和 6年10月23日

第 6 号

文責：校長 青柳 茂宏



教育目標 「自律・協働・挑戦」

「蒼陵祭大成功！」

10月18日(金)には「令和6年度蒼陵祭」が開催されました。今年度は、来校者などに一部制限や入れ替えの場面はありましたが、基本的にすべての発表を保護者の皆様に見てもらえるようにいたしました。当日は、緊張感が伝わってくる中でしたが、各学年や各学級の準備や練習の成果が十分発揮され、最高のパフォーマンスでの感動的な文化祭となりました。また、たくさんの方々からお褒めの言葉をいただき、生徒たちも「自分たちでやり遂げた！」という達成感や満足感を味わえた一日となりました。



今回の文化祭へ向けた、ご家庭における保護者の皆様のご支援に深く感謝申し上げます。今後も、生徒の健やかな成長のため、本校教育活動へのご理解・ご協力をお願いいたします。

「時を守り、場を清め、礼を正す」

生徒自励目標「気づき・考え・行動する」生徒の育成のため、「時を守り 場を清め 礼を正す」を具体的実践事項としています。その中で今回は「場を清め」つまり「身の回りを整理整頓すること」について取り上げたいと思います。学校では「下駄箱に入れた靴をそろえられるようになる」ことを目指しており、そのことにより「気づく人」になることができ、さらに「感謝や奉仕の心が育っていくこと」につながるとして生徒に奨励しています。



そこで今回は、車で有名なトヨタで進めている手法とコツを紹介します。生徒一人ひとりに片づけの大切さを理解してもらい、その意識改革と習慣づけを進める上で参考にしてもらえればと思います。

【トヨタにおける5S活動とは】

- 1「整理(SEIRI)」 「いるものと」「いないもの」を分け「いないものは捨てること」
- 2「整頓(SEITON)」 「必要なもの」を「必要なとき」に「必要なだけ取り出せるようにすること」
- 3「清掃(SEISOU)」 「きれいに掃除すること」「日常的に点検すること」
- 4「清潔(SEIKETSU)」 「きれいな状態をキープすること」
- 5「しつけ(SHITSUKE)」 「整理・整頓・清掃の活動を習慣化」し「そのルールを守ること」

【トヨタ式片づけのコツ】※モノの配置の大原則「3定」

- 1「**定位置**(決まった場所に)」…「もの」の置き場所を決めておけば探す必要がなく、迷わず手に取れる場所に置き、使い終わったら必ずそこに戻すようにする。
- 2「**定品**(決まったものを)」…この場所にはこれを置くというように、場所と「もの」を連動させ、他の「もの」が置かれていないようにする。
- 3「**定量**(決まった量で)」…「もの」の量は、一定の量を超えないようにし、新しい「もの」が加われば古い「もの」は捨てるようにする。

学校にしろ家庭にしろ、片づけの目的や意義をしっかりと理解し、習慣化されることが大切です。

お知らせ 2学期になり、「各運動部新人大会」「信陵中地区文化祭」「特別支援合同スポーツ大会」などが開催されており、本校生徒の大活躍が報告されています。今まで取り組んだことの成果を大いに発揮し『チャレンジ・挑戦』してくれていると感じております。積み重ねた努力が素晴らしい成果となって現れていること大変うれしく思います。(結果の詳細については「学年だより」等をご覧ください。)

